

公立学校共済組合近畿中央病院
耳鼻咽喉科部長

はしもと みちこ
橋本 典子

■ 嗄声について

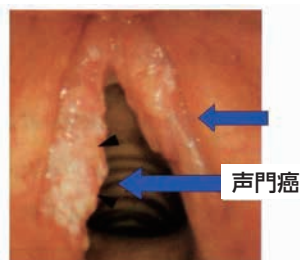
喉頭はいわゆる「のどぼとけ」に位置しており、下方は気管から肺へ続いています。声帯は左右一対で「のどぼとけ」のやや下に位置しています。声帯のある部分は声門と呼ばれ、それより上を声門上、下を声門下と呼んでいます。喉頭の背側（後方）には下咽頭と呼ばれる部位があり、こちらは食道へ続いています。

声帯の病気があれば、声がかすれることになります。

その声帯にできる良性の病気の代表例が「声帯ポリープ」「ポリープ様声帯」です。

悪性の病気が「喉頭癌」です。

今回は声帯ポリープ、ポリープ様声帯について解説していきます。



声門癌 喉頭内視鏡写真

声帯ポリープ、ポリープ様声帯の症状

声が出しにくくなる、かすれるという症状が出ます。

声帯が全体に腫れ上がるポリープ様声帯であれば、ひどくなれば、呼吸困難を生じることもあります。

喉頭癌のうち、声帯癌の初期症状も声を出しにくくなる、かすれるという症状で、自己判断で「ただの声帯ポリープだ」という思い込みは禁物です。

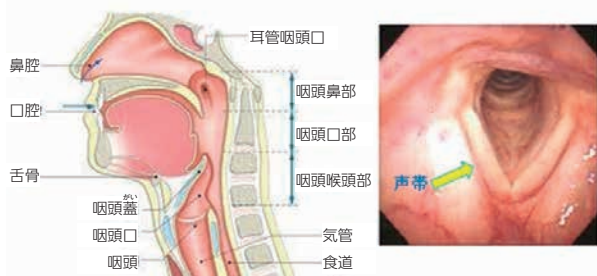
声帯ポリープ、ポリープ様声帯の できやすい方

声帯ポリープは、よく声を使う仕事をしている方（歌手や教師など）や急に大声でどなったなどの後、急に高音の声を出した後や炎症があるのに無理に声を使った後の方によくできます。

ポリープ様声帯では喫煙や飲酒による炎症の影響が要因と言われています。

特に喫煙は声帯に炎症を起こし、声帯ポリープにもポリープ様声帯に対しても良くありません。

口腔、咽頭、喉頭、気管



喉頭の疾患



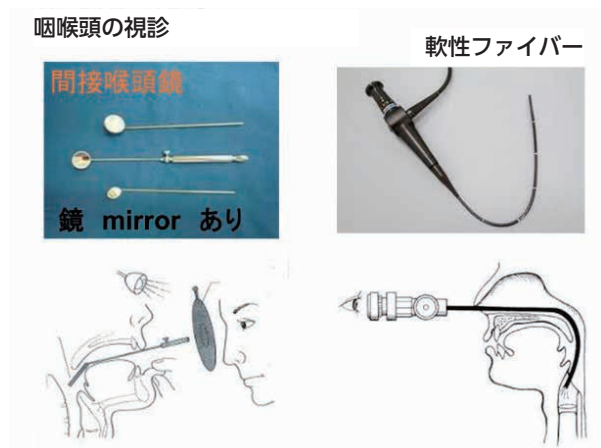
声帯結節
音声酷使による



ポリープ様声帯
喫煙による

声帯ポリープ、ポリープ様声帯の診断

耳鼻科で間接喉頭鏡というミラーや喉頭軟性内視鏡で診察します。



声帯ポリープ、ポリープ様声帯の治療

悪化要因をまず取り除くことが先決です。

声帯の酷使が原因と考えられる場合は、まず、声帯の安静、つまり、声を出さないようにしていただくことです。

炎症があるにもかかわらず、音声を使って、ポリープができた場合は、その炎症の消炎を図ります。

喫煙習慣があれば、禁煙していただきます。

特に、喫煙については、後述する手術を施行したとしても、術後に喫煙習慣があれば、再発してしまうため、術前から禁煙を守っていただくことが重要です。

声帯ポリープ、ポリープ様声帯の手術

上記のような手術に至る前の治療で改善が望めない場合は、外科的治療が必要となります。

ごく小さな声帯ポリープの場合、外来で内視鏡下に摘出する場合がありますが、多くは、全身麻酔下に直達喉頭鏡を使用して手術することとなります。

ポリープの部位や大きさによって異なりますが、術後3日～1週間は声を出してはいけません。また、術後1か月間は音声の酷使は禁止です。

声帯ポリープ、ポリープ様声帯は癌になりますか？

声帯ポリープやポリープ様声帯を放置しても喉頭癌にはなりません。

ただし、初期症状は声がかすれるなど、ほぼ同じであるため、きちんと診察を受けないと診断できず、くれぐれも自己判断は禁物です。

